

文教厚生常任委員会行政視察研修報告書

文教厚生常任委員会では、1月20日、所管事務調査として、那須塩原市・芳賀町にて視察研修を実施して参りました。

参加者は、若見副委員長、大河原委員、岡村委員、福田委員、矢澤委員、私石岡であります。また、文教厚生常任委員会の各所管課長も同行しました。

視察研修は、那須塩原市の『那須塩原市青木サッカー場』と、芳賀町の『芳賀町 B&G 海洋センターの施設概要について』です。

那須塩原市

○那須塩原市青木サッカー場について

文教厚生常任委員会では、さくら市におけるサッカー場整備に関連し、県内で整備を進めている先進的な那須塩原市へ出向き研修しました。

青木サッカー場の土地は、昭和63年に学校法人仙台育英学園が那須研修センターとして開設し、高校生の宿泊研修の場として使用されていた敷地で、平成19年に那須塩原市と「土地及び建物等譲渡契約」を締結し、無償譲渡により取得されました。

施設の概要については、グラウンドが4面あり、さらにホースガーデン（屋内乗馬施設）も併設されている。平成21年から天然芝、人工芝のグラウンド整備工事、夜間照明の設置等を行い、平成28年度には新設の管理棟が完成し全体の整備は終了予定です。整備費用については、委託費と工事費（平成21～26年度）を合わせて607,861,980円。そのうち、平成21年度に44,931,000円、22年度には72,933,000円を「toto助成金」として受けている。

管理については、指定管理者制度で行い、市サッカー協会とも設計段階から連携を取りグラウンドや施設等の維持を行っている。特に、芝の維持については、利用制限の徹底を行っている。

稼働率については、ナイター照明があるグラウンドは、ほぼ毎日のように使用されている。また、関東大会、県大会等の大規模な大会も年間を通し開催され、それに伴い近隣の飲食業や宿泊業等にも一定の効果が出ている。

建設にあたり、さくら市としても参考にしていきたいです。



芳賀町

○芳賀町 B&G 海洋センターの施設概要について

文教厚生常任委員会では、さくら市における B&G プール運営に関連し、芳賀町へ出向き施設の概要と運営について研修しました。

芳賀町 B&G 海洋センターは、次世代を担う子どもたちの育成、地域住民の健康づくりのために平成 10 年にオープンし、平成 23 年からは指定管理者に管理移行し運営しています。

入場者数は、同規模施設では全国 3 位（平成 26 年度は 1,525,929 名）で、平成 10 年度から毎年増加を続けている。町民の利用割合は約 6 割で、震災以降に町外利用者も増え続け、口コミでの効果があったと考えられる。また、定期的に広告を作成し、利用者・会員の増を図っている。

施設の目玉は、50m スライダー、ジャグジー、子ども・大人の水泳教室などメニューが豊富なところ。また、海洋センターまでの市内の公共交通（送迎用のタクシー）も充実しており気軽に利用できます。

さくら市と施設規模等全く違いますが、職員の育成、学校教育における使用方法はじめ、送迎用のタクシー運用等見習う点があります。

今後は、利用者数の増員を図るため、視察後の 1 月下旬改修工事に入ることですが、更に良くなった施設の今後についても注目をしていきたいです。

